

5. 大分川の川づくりの進め方

5.1 関係機関、地域住民との連携

大分川を常に安全で適切に利用・管理する気運を高め、より良い河川環境を地域ぐるみで積極的に形成することを目的に、河川管理者として収集した情報や河川整備及び河川利用に関する情報等を掲載したポスター、パンフレットなどを作成するとともにインターネット等により幅広く情報提供を行い、情報の共有化を図ります。

特に大分川の河川清掃やイベント等の地域住民の自主的な活動に対しては、安全で多数の地域住民が参加できるよう、活動に必要な河川情報を積極的に提供する等の支援を行います。

また水生生物調査や簡易水質調査、野鳥観察会等を関係機関・地域住民と協働して行い、清らかな流れと、源流から河口に至る流域の豊かな自然環境を次世代に継承するために、河川愛護の啓発活動を実施します。

これらにより、地域住民が大分川に関わる機会を設け、日常の維持管理においては、従来の河川管理者が行ってきた河川管理から、「憩いの場として愛される大分川を流域住民とともに」との認識に立った住民との協働による河川管理への転換を図ります。

5.2 地域住民の関心を高めるための広報活動

大分川の特性と地域風土・文化を踏まえ、「大分川らしさ」を活かした河川整備を進めるために、ホームページ・広報誌やラジオ、テレビ（CATVを含む）、新聞など地元メディアを利用して広く情報提供し、住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換の場づくりを図るなど関係機関や地域住民との双方向コミュニケーションを推進していきます。

さらに川遊びや水生生物調査、イベント、環境学習など水辺の自然体験活動等の機会の提供を支援し、これらの自然体験活動の指導者育成を図るとともに、将来の地域を担う子ども達への環境学習を積極的に支援するなど、住民が大分川への関心を高めるための活動を行います。



写真 5.1.1 リバーフェスタ



写真 5.1.2 親と子の水辺教室